

# 松山大学法学部学術研究会

**演題**：古いノモスと新しいノモスの狭間で～日記に映し出されたカール・シュミットの姿

**講師**：フロリアン・マイネル氏（ゲッティンゲン大学・法学部・教授）

## 講演概要

現在解説が進行中のカール・シュミット日記帳について、シュミットの遺稿管理人でもあるゲッティンゲン大学のフロリアン・マイネル教授をお招きし、第二次世界大戦中のシュミットの日記に関するマイネル教授の最新の研究成果を披露していただく。

本邦初公開であることはもちろん、世界的な意味でも文字通り最先端かつ最高の研究成果として、国内外の学界にとり、きわめて稀有な機会となるであろう。学生や教職員はもちろんのこと、広く一般市民にも参加を呼びかけたい。

コーディネーター・通訳

松山大学法学部教授 遠藤 泰弘

**日時**：2025年 10月 14日(火)

**16：00～17：30**

入場無料・参加自由

**場所**：松山大学 東本館 7階会議室 2

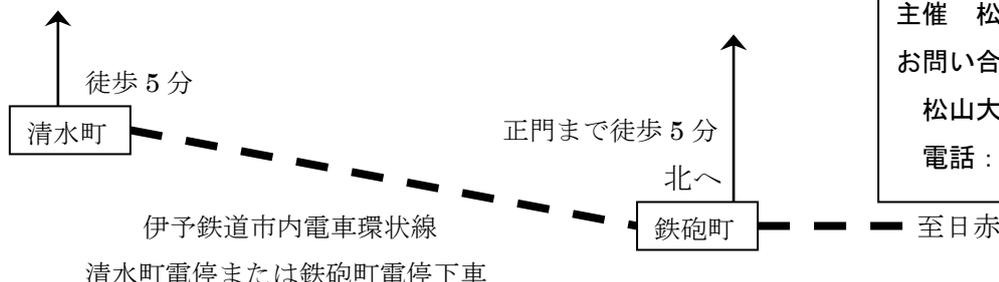


講師：フロリアン・マイネル教授の略歴

1981年ドイツ・マールブルク生まれ、ベルリン大学で法学を専攻、2010年法学博士（ベルリン大学）、ヴュルツブルク大学教授などを経て、2020年よりゲッティンゲン大学教授

専攻：政治理論・政治思想史、比較憲法

著書：*Germany's Dual Constitution. Parliamentary Democracy in the Federal Republic*, Oxford, 2020, *Selbstorganisationsrecht des parlamentarischen Regierungssystems. Vergleichende Studien zu einem Verfassungsproblem der Bundesrepublik Deutschland*, Tübingen: Mohr Siebeck 2019 他



主催 松山大学法学部

お問い合わせ先

松山大学教務課 法学部担当

電話：089-926-7137（直通）